

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-添 1-017-07
提出年月日	2022年9月8日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料

その他発電用原子炉の附属施設 敷地内土木構造物のうち

敷地内土木構造物

(添付書類)

2022年9月

中国電力株式会社

VI-1 説明書

VI-1-1 各発電用原子炉施設に共通の説明書

VI-1-1-5 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書

VI-1-1-5-8 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設）

VI-1-1-5-8-6 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設（敷地内土木構造物））

2. 敷地内土木構造物

名	称	抑止杭
個	数	— 15

【設定根拠】

(概要)

保管場所のうち第3保管エリアの敷地下斜面は、敷地内土木構造物である抑止杭を設置することで、地震によるすべりを防止できる設計とする。

1. 個数の設定根拠

抑止杭の個数は、第3保管エリアの敷地下斜面の崩壊を防止するために必要な必要抑止力を満足するよう、杭のせん断抵抗力を基に設定し、2次元動的FEM解析により抑止杭の耐震評価及び斜面の安定性評価結果が基準値を満足することを確認している。

第3保管エリアの敷地下斜面は、区間Ⅰ及び区間Ⅱ（区間Ⅰ：158.27m、区間Ⅱ：48.62m）に分けられ、谷で分かれた異なる山体であり、異なるすべり形態となっている。それぞれの区間の必要抑止力を満足するよう、区間Ⅰは抑止杭を12個、区間Ⅱは抑止杭を3個設置する。

上記から、抑止杭の個数は15個とする。